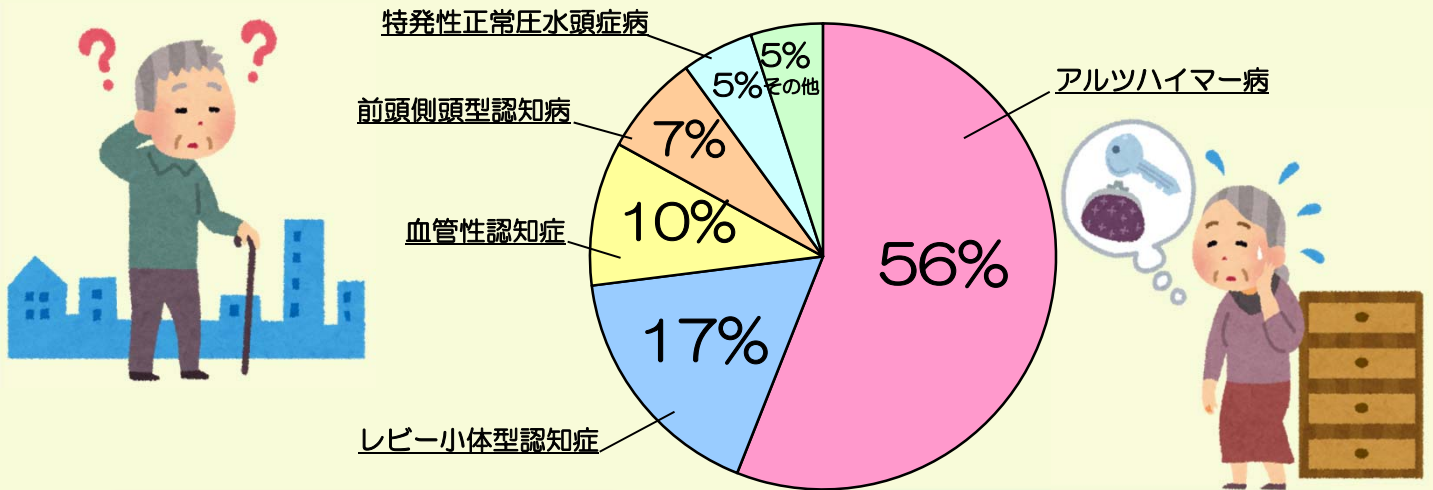


認知症は脳の病気です

認知症は進行がゆるやかに進行するため、早期発見がしにくく、気づいたときには病気が進行していることがあります。
認知症の種類と症状・予防法をご紹介します。



アルツハイマー病

脳の神経細胞内に異常なタンパク質がたまって神経細胞がゆっくりと壊れて減っていき、やがて脳全体が委縮する病気

- 主な症状**●
 - ・物忘れ、判断力や理解力の低下
 - ・進行すると徘徊、妄想、幻覚などが現れる
- 予防・治療法**●
病気を完全に治す治療法はないが、症状の進行を遅らせる薬がある

レビー小体型認知症

脳の神経細胞内に、「レビー小体」と呼ばれるタンパク質の一種がたまり神経細胞が壊れていく病気

- 主な症状**●
 - ・強い眠気と長時間ボーとした抗うつ状態が続き、意思疎通がとれないこともある
 - ・実在しない人や虫などが繰り返し見える
 - ・筋肉がこわばり、動作が鈍くなる
- 予防・治療法**●
病気を完全に治す治療法はないが、症状の進行を遅らせる薬がある

血管性認知症

脳卒中が起こることで一部の神経細胞に栄養が届かなくなり、神経回路が壊される病気

- 主な症状**●
 - ・記憶がまばらに低下する
 - ・手足のまひや言語障害を伴う
- 予防・治療法**●
脳卒中の再発が起こるたびに悪化していくので、生活習慣病を予防したり、血圧をコントロールする薬をしっかりと服用したりすることが大切

前頭側頭型認知症

脳の中でも前頭葉と側頭葉が委縮する病気

- 主な症状**●
 - ・感情のコントロールができなくなる
 - ・人格が急変したり、自己自制が利かない
 - ・同じ行動や言葉を繰り返す
- 予防・治療法**●
急激な変化に弱いので、得意な作業や行動を取り入れ、規則的な生活を送れるようなケアを心がけて

特発性正常圧水頭症

脳の中央にある脳室に髄液がたまり、しだいに拡大していく病気
手術で治療可能な認知症として注目をされています



JA長野厚生連
長野PET・画像診断センター